

# 令和2年第11回定例公安委員会会議録

開催日時 令和2年4月23日(木) 午前11時10分～午後2時40分

開催場所 警察本部

## 第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時20分

2 出席者

公安委員会 小谷委員長 衣笠委員

警察本部	津田警察本部長	川島警務部長	柴田首席監察官
	河本生活安全部長	長谷高刑事部長	保田交通部長
	谷村警備部長	本庄警察学校長	濱口情報通信部長
	細田警務部参事官		

(事務局等～松本公安委員会補佐室長)

3 議題事項

4 報告事項

- 警察音楽隊ミニコンサートの動画配信(警務部)
- 採用募集活動状況(警務部)
- 管区警察局による随時監察の受監結果(令和元年度第3回)及び懲戒処分等の状況、随時監察の実施結果(令和元年度第4四半期)(警務部)
- 航空隊員(整備士要員)の部内選考(生活安全部)
- 子どもと高齢者の交通死亡事故抑止対策(交通部)
- 5月中の入校及び訓練概況等(警察学校)

(1) 警察音楽隊ミニコンサートの動画配信(警務部)

## 警察本部

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、鳥取県警察音楽隊においても毎月開催しているプロムナード・コンサートを中止しているが、県民から「音楽隊の演奏が聴きたい。」との意見が多数寄せられた。このような状況を踏まえ、県民の期待にこたえるため、本年4月15日、鳥取県警察音楽隊隊舎において、新型コロナウイルス感染予防対策に注意を払いながら、鳥取県民歌など計6曲の演奏を収録した。そして、警察本部長のメッセージと合わせ、「鳥取県警察音楽隊ミニコンサート～新型コロナに負けない！～」と題し、翌日16日からYouTubeで配信している。

収録に際しては、換気、消毒、隊員間の距離を広めにするなどのほか、取材に訪れたマスク関係者に対しても消毒を徹底し、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮した。

取材には7社が訪れ、ニュースや新聞等で報じられた。収録した動画は、県警ホームページやFacebookからも視聴できる。また、動画配信について、鳥取県のあんしんトリプルメールで情報発信を行った。

本日（4月23日）現在、動画再生回数は約3,000回である。

本企画は、新型コロナウイルス感染防止対策に尽力している鳥取県とも連携を密にしながら実施したが、県警察の顔として広報を担う警察音楽隊の役割を発揮できたと考えている。

## 委員

動画は多くの人が見ることができるので、警察を身近に感じることに繋がると思う。特に、様々なイベントが中止となる情勢のなか工夫したものであり、非常に良い取組だと思う。

## (2) 採用募集活動状況（警務部）

### 警察本部

警察官採用試験受験者数は、就職適齢人口の減少や景気回復による民間企業の採用拡大により平成23年度以降減少していたが、昨年度の競争倍率は4.1倍であり、前年度の3.1倍から、やや増加した。一方、警察行政職員受験者数も減少傾向にあり、昨年度の競争倍率は2.2倍と過去最低であった。

本年度の警察職員採用試験の日程であるが、新型コロナウイルス感染拡大予防措置のため、警察官A・Bの1回目及び警察行政の氷河期世代チャレンジ枠の1次試験については延期となっており、延期後の日程についても未定である。

採用募集活動の状況について、県警察では、平成19年度から採用後10年未満で人間味があり、魅力あふれる者をリクルーターに指定しており、出身校や恩師の勤務する学校等へ訪問するなど、採用募集活動や採用候補者に対する辞退防止活動を実施している。本年度は警察官54名、警察行政職員14名を指定して

おり、内訳は、男性41名、女性27名、平均年齢は25.5歳である。

なお、女性は前年の15人から増加した。

リクルーターには、本年4月6日に警察本部において指定書交付式を行い、以降、各警察署等において活動を行っている。今後、新型コロナウイルスの感染状況に応じ、各種イベント、リクルーターによる学校訪問等については開催時期や方法を判断し、感染予防対策を確実に講じた上で実施する。一方、テレビCM、新聞、ラジオなど、感染リスクの影響のない広報媒体を活用するとともに、本年度からLINEによる警察の魅力や採用試験日程等の情報発信を予定している。

#### 委員

就職説明会が軒並み中止となるなか、インターネットなどを活用した情報発信は大切である。優秀な人材の確保につなげてほしい。

#### 警察本部

やはり、今の世代はSNSも含め、インターネットでの情報収集が多いと思うので、その点を検討しながら進めていきたい。

#### 委員

若い世代が情報をキャッチしやすいように取り組んでいただきたい。

警察行政職員の競争倍率が過去最低とのことだが、仕事内容や良さについて情報発信していただきたい。また、採用候補者に対する辞退防止も重要だと思うので、引き続き、よろしく願います。

(3) 管区警察局による随時監察の受監結果（令和元年度第3回）及び懲戒処分等の状況、随時監察の実施結果（令和元年度第4四半期）（警務部）

警察本部から、管区警察局による令和元年度第3回随時監察の受監結果、当県の令和元年度第4四半期における懲戒処分等の状況及び随時監察の実施結果について報告がなされた。

#### 委員

指導事項があれば、適切に対応していただきたい。改善すべき点を早期に改善しなければ、問題があっても「これで良い」という感覚が周囲に広がってしまう。

何事も早い段階での対応が大切である。小さなことであっても気を抜かず、引き続き指導を行っていただきたい。

(4) 航空隊員（整備士要員）の部内選考（生活安全部）

#### 警察本部

本県警察の航空整備士の配置基準は3人であるが、中途退職により現在は2人体制である。今後、この2人の定年退職が迫っており、航空整備士配置と後継者育成が必要な状況であるが、早期から航空整備士の有資格者を対象とした一般公募による採用活動を行ったものの、昨年度の受験者はなかった。本年度も一般公募を実施するが、並行して県下の警察官及び警察行政職員を対象とした部内選考を実施し、体制の拡充を図る。

応募要件は、警察官は警部補以下で45歳以下の者、警察行政職員は係長以下で45歳以下の者とする。

なお、一般公募の要件も45歳以下としている。

選考人数は最大3人であり、今後、アンケートによる意向調査、要員募集等を行い、面接試験により選考する。要員となった職員は、令和3年4月から民間の航空整備専門学校に3年間入校し、航空整備士資格を取得する。

#### 委員

以前、航空隊を視察した際に航空整備士の体制のことを聞いた。部内選考であれば、適性が見極めやすいというメリットがあると思う。

#### 警察本部

アンケートを実施してみないと希望者がどの程度いるか分からないが、希望を募り、本人の意欲や勤務状況等を踏まえ、判断したい。

一般公募も行うが、現状では民間を希望される方が多く、厳しい採用情勢である。

#### 委員

操縦士の後継者育成はどうか。

#### 警察本部

現在2人配置しているほか、1人育成中である。

### (5) 子どもと高齢者の交通死亡事故抑止対策（交通部）

#### 警察本部

4月15日現在、昨年同期と比べ、県内の交通事故発生件数は8件減少、死亡事故件数は5件減少、死者は5人減少、負傷者数は2人増加という状況である。

子どもの交通死亡事故抑止対策について、次世代を担う子どもの安全を守ることは、極めて重要であると考えている。昨年は、交通事故による子どもの死者はなく、傷者は前年の77人から大幅に減少し49人と、全死傷者に占める割合は5パーセントであった。子どもの死傷者数は、平成22年の136人から大きく

減少しているものの、全死傷者に占める割合は、この10年間ほぼ横ばい状態であることから、継続した対策が必要である。主な対策として、幼稚園、小学校等と連携し、道路の横断に関する教育を重点的に実施しているほか、スタントマンによる事故体験型交通安全教育や、自転車シミュレーターを活用した交通安全教育を推進している。また、保護者に対するものとして、チャイルドシート着用率向上に向けた広報活動も実施している。

高齢者の交通死亡事故抑止対策について、昨年、県内で交通事故により亡くなられた方は31人であった。そのうち20人は高齢者であり、64.5パーセントを占めた。これは、前年の40パーセントから大幅に増加したことから、高齢者対策を優先課題と位置付け、被害者、加害者の両面での各種抑止対策を実施している。主な対策として、高齢者の複数回事故当事者に対し、個別訪問による安全指導のほか、警察署に配備したドライブレコーダーを貸出し、個別に安全運転の指導を実施している。また、参加・体験・実践型の交通安全教育として、交通安全教育車「ことぶき号」、歩行環境シミュレーター、物忘れ相談プログラムなどを実施しているほか、シルバーセイフティインストラクターによる交通安全講習も行っている。

そのほかの取組として、本年の春の全国交通安全運動期間中は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年実施している交通安全パレードや各種イベントが中止となるなか、4月8日には鳥取市立久松小学校において警察本部長等による新入学児童に対する交通事故防止の呼び掛けを実施した。また、同月15日には、警察本部長、警務部長等により、鳥取、倉吉、米子市内の飲食店街を巡回し、飲酒運転根絶に向けた街頭広報を実施した。

#### 委員

新型コロナウイルスにより活動の制限もあるが、その中で工夫して広報等を実施されていると思う。

#### 委員

本年は、現時点で交通死亡事故件数が減少している。地道な活動の結果だと思うので、引き続きよろしく願います。

### (6) 5月中の入校及び訓練概況等（警察学校）

#### 警察本部

5月中の入校関係は、採用時教養として入校中の初任科第91期、92期に加え、初任補修科第38期が入校する。専科等は4課程を予定しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、専科生を寮ではなく通学にするなどの諸対策を検討しており、日程等を調整中である。

訓練関係は、警察官としての職責の重要性を自覚させ、使命感の醸成を図るこ

とを目的として拳銃貸与式を予定している。また、現時点では5月17日に剣道の国体予選が予定されており、学生2名が出場予定である。

4月中は、初任科生の特別生活指導期間中に、久松山登山、10キロマラソンを行った。

#### 委員

警察学校は人数も多く全寮制なので、クラスター発生に十分注意していただきたい。

#### 警察本部

警察学校としても、初任科生と専科生との接触を避ける、配席変更、換気等、考えられることは実施しているが、引き続き、対応していく。

#### 委員

例年とは違う情勢で大変な面もあると思うが、学生には、一つ一つの訓練を通して立派な警察官になっていただきたい。教官方も、指導をよろしく願います。

## 5 その他

○交通死亡事故の発生（交通部）

○春の行楽期（ゴールデンウィーク）における鳥取砂丘周辺渋滞対策（交通部）

### （1）交通死亡事故の発生（交通部）

#### 警察本部

本年4月22日、鳥取市安長地内の県道において、トラックと自転車が衝突する交通事故が発生し、自転車に乗車していた男性が亡くなりました。本年3件目の交通死亡事故であり、本事故を受けて本日から3日間、交通死亡事故抑止緊急対策として広報啓発活動、交差点における交通指導取締りなどを実施し、県民に対して注意喚起を行う。

### （2）春の行楽期（ゴールデンウィーク）における鳥取砂丘周辺渋滞対策（交通部）

#### 警察本部

例年、ゴールデンウィーク期間中には、国土交通省、鳥取県及び鳥取市と連携し、鳥取砂丘周辺道路において交通渋滞対策を実施しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策の緊急事態宣言が全国に拡大されたことに伴い、案内看板の設置、交通誘導員の配置、シャトルバスの運行等、道路管理者が行う渋滞対

策は実施しないこととなった。警察としては、渋滞が発生した際には通常勤務を通じて対応を行う。

## 第2 その他の公安委員会活動

### 1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取5件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞3件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

### 3 報告事項

- ・公安委員会宛て要望関係
- ・業績目標
- ・審査請求審理結果
- ・訟務案件

### 4 公安委員会委員間の事前検討・協議等

### 5 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。